

ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

西暦 2019年4月1日作成

研究課題名	ヒト組織検体を用いた固形腫瘍の進展メカニズムの解明
研究の対象	2008年1月～2018年3月に当院消化器腫瘍外科で手術を受けられた患者さま また、研究期間中に当院にて腫瘍切除術を施行される患者さま
研究目的 ・方法	手術により切除された腫瘍の組織片を免疫不全マウスの皮下に移植・継代し、組織片を生体内で保存維持します。また同時に組織片を3D 培養で継代し、オルガノイドという状態で保存維持します。オリジナルの組織片とこれらの保存組織片は、遺伝子や蛋白質の発現などを調べることで、どの程度性質が保たれているかを検証し、腫瘍増悪のメカニズム（腫瘍免疫を含む）の解明や治療法開発に役立てます。
研究期間	西暦2018年4月1日 ～ 西暦2023年3月31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	試料：手術の際の切除検体 情報：病歴、抗癌剤治療歴、副作用、治療成績 等
外部への 試料・情報の 提供	当該課題のデータの一部（ゲノム、トランスクリプトーム）は東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターで施行します。また、腫瘍免疫に関する解析の一部は、2018 年度から研究分担チームである免疫学教室がエーザイ株式会社からの共同研究費によって行います。そのため解析データの一部についてはエーザイ株式会社に開示することをご了承ください。外部へ移動、提供される情報には個人情報は一切含まれません。この研究に関わるエーザイ株式会社との利益相反については、臨床研究利益相反委員会への報告と、必要な情報の開示などが適切に行われることで承認されています。
研究組織	横浜市立大学附属病院 遠藤 格 東京大学医科学研究所 井元 清哉
<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、検体等の提供者もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科学 (研究責任者) 遠藤 格

消化器。肝移植外科 (個人情報管理者) 秋山浩利

電話番号：045-787-2800 (代表)